

平成 19 年 10 月 26 日  
北海道ガス株式会社  
天然ガス自動車北海道株式会社

## 「北海道高校生環境サミット」の移動・送迎に 環境にやさしい天然ガスバスを提供します。

北海道ガス株式会社（本社：札幌市、社長：前泉洋三）の子会社である天然ガス自動車北海道株式会社（本社：札幌、社長：稲見雅寿）は、10月27日（土）・28日（日）に胆振管内洞爺湖町で開催される「北海道高校生環境サミット」（主催：北海道）の移動・送迎用バスとして環境にやさしい「天然ガスバス」を提供いたします。

「北海道高校生環境サミット」は、来年7月に開催される「北海道洞爺湖サミット」に先がけ、北海道内の高校生が集い、環境問題について議論し、これからの北海道や地球の環境保全について宣言を行い、広く道民の環境保全意識の高揚をはかることを目的として開催されます。天然ガス自動車北海道㈱では、同サミットの開催場所となる道立洞爺少年自然の家、洞爺湖ビジターセンターとJR洞爺駅間の移動・送迎用バスとして「天然ガスバス」を運行する予定です。

「天然ガスバス」は、黒煙の排出が全くなく、あわせてNO<sub>x</sub>（窒素酸化物）、SO<sub>x</sub>（硫黄酸化物）等の大気汚染物の排出がきわめて少ない上に、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の排出も削減できるなど、環境性の高さから多くのバス会社様にご採用いただいております。すでに全国で約1300台以上が普及しています。

なお、このたびの「天然ガスバス」の提供にあたっては、ジェイ・アール北海道バス株式会社様および北海道中央バス株式会社様のご協力をいただいております。

### \*\*\*\*\* 北海道高校生環境サミット開催概要 \*\*\*\*\*

#### 【第1日目】

日程：平成 19 年 10 月 27 日(土)

場所：道立洞爺少年自然の家（虻田郡洞爺湖町岩屋 15）

内容：環境セミナー、環境交流会

#### 【第2日目】

日程：平成 19 年 10 月 28 日(日)

場所：環境省洞爺湖ビジターセンター（虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 142-5）

内容：高校生サミット宣言・検討、対話集会、記念植樹

以上

## <ご参考>

### 天然ガス自動車とは？

天然ガスを燃料とした圧縮天然ガス（CNG\*）自動車。CO<sub>2</sub> 発生量は、ガソリン・ディーゼル車に比べて約 8 割。大気汚染の原因となる NO<sub>x</sub> や CO、反応性 HC（非メタン炭化水素～光化学スモッグの原因）の排出量を大幅にダウンさせるため、環境保全、地球温暖化防止に貢献する低公害車として、国・自治体の協力の下、その普及が進められています。

\*CNG = Compressed Natural Gas

### 天然ガス自動車普及の現状

日本における天然ガス自動車の普及台数は、2007 年 3 月末現在で 31,462 台。北海道内では、2007 年 3 月末現在で普及台数は 1,307 台となりました。

北海道内における天然ガス充填所は、現在札幌圏に 7 ヶ所（石狩、大谷地、24 軒、北 5 条、中央卸売市場、雁来、発寒）、旭川市に 1 ヶ所（永山）、計 8 ヶ所あります。

### 道内における天然ガス自動車導入の沿革と現状

北海道ガス㈱では、1995 年 5 月に北海道で初めて天然ガス自動車を導入いたしました。その後、1996 年 5 月に天然ガス自動車北海道（株）を設立し、自治体や企業に対し、環境全の面での優位性を積極的に PR し、低公害車である天然ガス自動車の普及に積極的に取り組んでまいりました。

現在、札幌市では、塵芥車や公用車として導入しているほか、再整備計画を進めている札幌中央卸売市場においても構内運搬車の天然ガス自動車への切り替えを進めており、現在までに 750 台以上が導入されています。また、札幌市等の主催によるスポーツイベント「札幌マラソン」にも、2000 年から天然ガス自動車が大会車両として採用されており、市民の環境意識の啓発に一役買っています。

一方、民間では運送事業者やコンビニエンスストアの配送用トラック、路線バス等、ディーゼル車の代替車両としての導入が進みつつあります。今後は、2010 年までに道内都市ガス事業者が順次天然ガス転換を進めることによって天然ガス供給基盤が整うことに加え、環境意識の高まりや燃料コストの抑制といった昨今の社会ニーズを背景に、さらなる普及拡大が期待されています。